

登呂遺跡のある静岡市では、登呂ムラに人々が住むよりもずっと前から生活が営まれていたことがわかっています。

この展覧会では、登呂ムラのあった弥生時代とその前後にあたる縄文時代や古墳時代の静岡市域の遺跡から発見された出土品を紹介し、考古学や発掘調査によって知ることのできる静岡市の歴史を覗いてみます。

登呂ムラがあった時代よりも前の時代や後の時代の人々の暮らしや風景はどのようなものだったのでしょうか。登呂遺跡と比べながら旅してみましよう。

縄文時代



米づくりが伝わる前の狩りや木の実の採集などをして食べ物を手に入っていた時代です。登呂遺跡の東側にある有度丘陵のほか清水・由比・蒲原など静岡市内の各地で縄文時代の遺跡が見つかっています。由比地区の阿倍遺跡の資料などを展示します。



弥生時代



大陸から伝わった米づくりが広まった時代です。登呂遺跡はまさにこの弥生時代の遺跡で、生活用具以外にも米づくりに関わる道具が多く出土しています。登呂遺跡の資料を中心に、農耕の様子や道具の移り変わりのわかる資料などを展示します。



古墳時代



弥生時代から引き継ぎ米づくりが行われていますが、クミを治める首長によって古墳という大きなお墓がつけられた時代です。登呂ムラの後の時代に存在した小黒遺跡の資料のほか、古墳に納められた副葬品や埴輪などの資料を展示します。



関連講座

文化財がいっぱい！ 静岡市学芸員のイチオシトーク

「学芸員」と聞くと博物館で働く人を想像されることが多いと思います。

しかし、静岡市には市役所で文化財の調査・保存・活用を担う学芸員がいることを知っていますか？この講座では静岡市の文化財を支えている現役の学芸員がイチオシの文化財や静岡市の歴史にまつわることをお話しします。

- 場所 登呂博物館1階交流ホール
- 料金 無料
- 定員 40人程度
- 対象 どなたでも
- 申込 当日受付

6月6日(土) 13:30～15:00

- ◇ 森山 郁真 「美術工芸品と古文書から考える駿河国の中世」
- ◇ 河原崎 洗希 「建物から見る静岡の古墳時代」

6月20日(土) 13:30～15:00

- ◇ 渡邊 智大 「戦火から救われた登呂のお宝」
- ◇ 松原 草太 「発掘された静岡の井戸～のぞいてみたら歴史が見える？～」

6月13日(土) 13:30～15:00

- ◇ 黒澤 諒 「実な腕輪～有鉤銅剣ってなんだろう？～」
- ◇ 熊谷 すずみ 「海に面した城！用楽城」

6月27日(土) 13:30～15:00

- ◇ 五十嵐 遼 「芸術作品からみる三保松原」
- ◇ 毛利 舞香 「お役所いまむかし～発掘から見る古代の静岡～」

展示解説

当展示の魅力や見どころを解説します。

令和8年5月3日(日)、令和8年6月14日(日)
各日 10:30～、14:00～

場所 登呂博物館 2階 特別・企画展示室

費用 無料(要観覧料)



◀バス▶ JR 静岡駅南口2番乗り場から石田街道線「登呂遺跡」行き(10分)終点下車

◀車▶ 東名静岡ICから約10分
東名日本平久能山スマートICから約10分
遺跡南側に有料駐車場50台有り
(普通車1台400円)

開館時間 | 9:00-16:30
休館日 | 月曜日 祝日の翌日
観覧料 | 一般300円 高校・大学生200円 小中学生50円

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号
TEL 054-285-0476

https://www.shizuoka-toromuseum.jp



静岡市立登呂博物館
Shizuoka City Toro Museum